

フロッキー アイロン転写紙

この度は、サンワサプライのインクジェット用フロッキーアイロン転写紙をご購入いただき、誠にありがとうございます。この用紙はインクジェットプリンタで印刷した画像をアイロンを使って転写して、転写部分をフロッキーのものにもこもこ、ふわふわした感じに加工することのできる用紙です。この用紙を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

ご使用になる前にご確認ください。

この用紙は、インクジェットプリンタで簡単にオリジナルのアイロン転写ができる便利な用紙ですが、転写後の布は市販されているプリントシャツやシルク印刷されている布などとなり、デリケートな取り扱いが必要です。これらの布と同様に取り扱わないようご注意ください。インクジェットプリンタのインクの種類、洗濯を重なり色落ちしたり、アイロンが足りないとはがれたり、また洗濯方法に気をつけていただく必要があります。用紙自体の耐久性も高めましたが、デメリットもご理解いただいた上で、ご使用いただけますようお願いいたします。また洗濯方法についてはP.8の「洗濯について」の欄をご覧ください。

一度転写したものはがすことは出来ませんので、いらない布で試してからご使用ください。表面がメッシュ素材や目が粗い素材など対応していない布に転写はできません。対応していない布に転写すると、色落ちやがれ、にじみなど不具合が発生します。対応する布について、詳しくは下記をご覧ください。

△安全上のご注意

アイロンを使用しますので、やけど、火災に十分ご注意ください。特にお子さまだけによる取り扱いはおやめください。

ご使用前に本製品とご使用になるアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

転写できる布

白・淡色および、黒や赤などの濃色のTシャツなどの綿および綿ポリ素材、または150度以上でアイロンできる化繊布、化繊混紡布に転写できます。

1. 生地素材

綿100%、綿ポリ素材、ナイロンやポリエステルなどの化繊布、ポリエステル・アクリル混紡の綿素材などに転写可能です。

150度でアイロン転写するため、150度以下でアイロンをかける化繊布・化繊混紡布には対応しません。(例: ポリプロピレン、ビーズデン、一部のアクリル系素材) 詳しくは、お手元の生地の品質表示をご覧ください。アイロン「低」マークの入っている素材には使用できません。ポリエステルの場合、使用している材料によってはアイロンの熱より昇華し、転写紙の白い部分を染めることがあります。不要な布で試してからお使いください。

生地色について



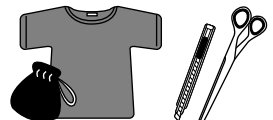
アイロンで熱をかけて転写しても、アイロン転写紙は白色のままなので、下地のTシャツ等の布の色が黒や赤などの濃色でも透けて見えません。下地の色が濃い色でも、転写画像が下地の色にかぶらず、キレイです。

2. 生地密度(粗さの目安)

- ① 左記の写真(原寸)のように、縦目及び、横目のいずれかの大きい方の折目の間隔が1mm以内のものをご注意ください。(これより目の粗いものは、転写不良の起こる可能性があり、お奨めできません。)
- ② カノコ・メッシュなど、段や縦い目、凹凸のある生地には使用しないでください。圧力のかかり方に差があると、その部分に下地の色が出てくる事があります。表面がなめらかなものを選んでください。

3. 防水加工など特殊な加工がされていないもの 事前に一度洗濯をされる事をおすすめします。

準備するもの



転写する布地 カッターorはさみ

(綿、綿混紡布、化繊布、化繊混紡布など)
転写前の洗濯をおすすめします。
素材によっては「転写できる布」をご覧ください。



アイロン

表面が堅めのアイロン台
または、堅くて丈夫な台

(テーブルやこたつ板などの上に、厚手の紙や布を敷いたもの)

アイロン
転写紙
表面

フロッキー
シート
表面

右上がカットされている面が表面です。

はがきサイズの厚紙

シリコン紙

用紙を給紙しやすくするため、転写紙の裏面に貼ります。ご注意ください。

セット内容
アイロン転写紙
上紙
フロッキーシート
説明書1部

右上がカットされている面が表面です。(表面を下にしてアイロンをかけます。)

再利用できます。表面はありません。シリコン加工してあり、高温に対応している市販のクッキングシートでも使用できます。(クッキングシートより転写紙の光沢感が変わってることがあります。いらぬ部分のためしてからお使いください。)

使用方法

1 デザインをします。

好きな画像、イラストを使ってあらかじめデザインをします。その後、アイロン転写紙の表面にそのまま正像で印刷します。

最新の情報、自由に使える画像やイラストなどの素材のダウンロードについては、用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」
<http://paper.jp/> または、
<http://www.sanwa.co.jp/> />

ご注意

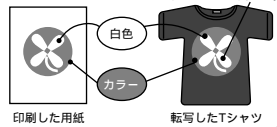
用紙のまわりが汚れやすくなるので、フチなし全面印刷はできません。フチなし全面印刷用のデザインはしないでください。

ワンポイント

白色が簡単に作れる!!

プリンタは白色のインクを持っていないので白色は印刷できませんが、転写紙の「印刷しない部分」がそのまま白色で布地の上の「性質を使って白色を作ることができます。

印刷しない部分が下地によって白色に。



2 印刷をします。

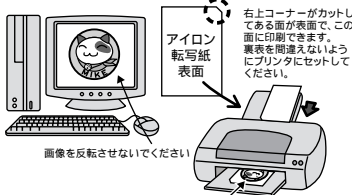
デザインした画像をそのまま正像でアイロン転写紙に印刷します。反転印刷しないでください。

プリンタについて このアイロン転写紙が使えるのは、下記のプリンタです。

エプソン PM・PX・CCシリーズ MJシリーズ
PM-4000PX、PX-5500、PX-G・V・Aシリーズなどの顔料系インクにも対応していますが、別途詳細設定が必要です。
キャノン PIXUS・BJ・BJCシリーズ
レックスマーク カラーインクジェットプリンタ
hp・NEC製プリンタでは色落ちが激しいため対応しておりません。

印刷について

- 1) 用紙サイズを必ず「はがき」にしてください
- 2) 用紙を置いた時、右上のコーナーがカットしてある方が表面になります。表面がプリンタのノズル側になるように用紙をプリンタに差し込んでください。
- 3) この用紙は手差しで1枚1枚給紙してください。給紙されにくい時は、用紙の後ろにははがきサイズの堅めの台紙を置いてください。通常の用紙よりコシがないため給紙がうまくいかないことがあります。給紙されにくい時は、用紙の後ろにははがきサイズの堅めの台紙を置いてください。また、給紙ガイドをはがきサイズにしっかりあわせてください。
- 4) 使用するプリンタの機種によりわずかに濃淡の差がでることがあります。その場合は、各機種取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。また、プリンタ各種に応じてカラーバランス、ガンマ補正、各色の濃度などを調節してください。
- 5) 下記の用紙設定に従い、正像で印刷します。



用紙設定・モード設定 (例)

印刷の際には下記のモード設定でご使用いただくと良好な画像を得ることができます。

| プリンタ | 用紙設定(用紙種類) | 印刷モード | |
|---------|----------------|-------|-----------------------|
| エプソン | PM-PX-CCシリーズ 1 | 普通紙 | きれい / はやい |
| | MJシリーズ | 普通紙 | きれい / はやい |
| キヤノン | 2 | 普通紙 | 標準 / ファイン |
| レコックマーク | | 普通紙 | ベスト / ノーマル / 高品位 / 標準 |

1: エプソンプリンタ PM-4000PX、PX-5500、PX-G-V-Aシリーズなどの全色顔料系インクにも対応していますが、美しい印刷・転写のために、下記のように用紙設定の変更を行って印刷してください。

2: より美しい印刷のために、下記の設定をしてください。

注: 1や2の条件プリンタなど上記以外のプリンタには対応していません。

印刷についてのご注意

エプソン全色顔料系インクのプリンタでのより美しい印刷・転写のために

エプソンプリンタPM-4000PX、PX-5500、PX-G-V-Aシリーズなどの全色顔料系インクにも対応していますが、この全色顔料系インクのプリンタをお使いの方は、必ず以下の用紙設定で印刷を行ってください。通常のプリンタと同じ「普通紙・キレイ」の印刷設定で印刷されると、アイロン時、画像によってはイエロー(黄色)のインクが熱により昇昇し、アイロン転写部分を黄色く染めるおそれがあります。お手数ですが、下記の設定により印刷を行っていただくようお願いいたします。

用紙設定・モード設定 (例) この設定を参考に、デザイン・画像により微調整してください。

| プリンタ | 用紙設定 | 印刷モード: 詳細設定の中・カラー調整 |
|---|------|---|
| PM-4000PX、PX-5500、PX-G-V-Aシリーズなど全色顔料系インクのプリンタ | 普通紙 | PM-4000PX、PX-5500 シアン・・・+5 +10 マゼンタ・・・+15 +20 イエロー・・・-25 |

用紙の設定を以下のとおり、行ってください。

基本設定の画面から「用紙種類」で「普通紙」を選んだあと、

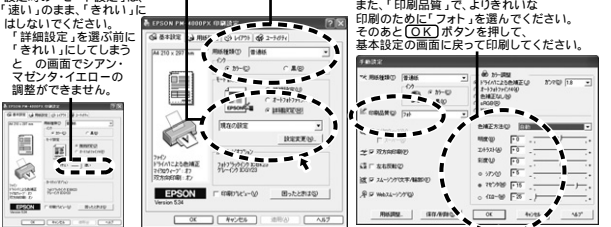
「詳細設定」を選び、「設定変更」ボタンを押し、

手動設定の画面を出します。

①「詳細設定」を選ぶ時、推奨設定時の「モード設定」は、「きれい」のまま、「きれい」にはしないでください。

②「詳細設定」を選ぶ前に「きれい」にしてしまう

と、画面でシアン・マゼンタ・イエローの調整ができません。



手動設定の「カラー調整」のところでPX-G-V-AシリーズはPM-4000PX、PX-5500、シアン・・・+5 +10マゼンタ・・・+15 +20イエロー・・・-25に、設定してください。

また、「印刷品質」で、よりきれいな印刷のために「ファイン」を選んでください。

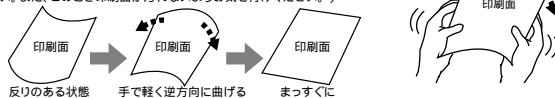
そのあと「OK」ボタンを押して、基本設定の画面に戻って印刷してください。

キヤノン製インクジェットプリンタでのより美しい印刷のために

- a. PIXUSシリーズなどで「用紙の種類」を「普通紙」、「印刷品質」を「標準」で印刷すると、構筋が入ることがあります。より美しい印刷のためには、「印刷品質」で「カスタム」を選び、「設定」で品位「高品質-1」を選んでください。



- b. 用紙の特性上、用紙に反りがあると、印刷開始位置にインク汚れが出る場合があります。下記の図のように用紙を軽く曲げ、反りをなくしてください。(あまりひどく折り曲げないでください。また、このとき印刷面が汚れないようお気を付けてください。)



ご注意

アイロン転写紙の表面がプリンタのノズル側になるように用紙をセットしてください。(裏表を間違えないように。)

アイロン転写紙の右上のコーナーがカットしてある方が表面です。

用紙の周りが汚れやすくなりますので、フチなし全面印刷はしないでください。

用紙がカールして反る際は、カールを直してセットしてください。

用紙設定でキヤノン、エプソンなどの「Tシャツ転写紙」、「アイロンプリントペーパー」は選ばないでください。画像が反転されてしまいます。

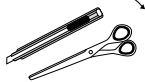
エプソン製プリンタPシリーズで黒や濃い色を多く使って印刷するときは、用紙設定で「アイロンプリントペーパー」を選んでください。また、その際は画像が反転されますので、元の画像を反転させておき、印刷画像が正像になるようにしてください。

アイロン転写紙表面

3 アイロン転写紙の余白部分を切り取ります。

イラストにそって余白部分をキレイに切ってください。

アイロン転写紙



ご注意

画像に合わせて周囲をきれいに切り取ってください。白く残った部分はすべてそのまま白く、転写されてしまいます。複雑な形にされず、後ではがきにくくなるのでご注意ください。

印刷後は、20～30分以上乾燥させてから速やかに転写してください。

印刷後はじめや変色などが生じるおそれがありますので、長時間放置しないでください。

乾燥し、やむを得ず保存する際は、十分に乾燥させた上で台紙の間にはさみ、用紙が入っていた袋に入れて保存してください。

4 アイロン転写紙をゆっくりとはがします。



はがすときは、端や角からゆっくりとめくると簡単にはがせます。

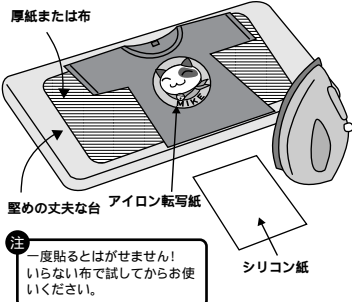
ご注意

デニム地に転写する時は、転写紙をはがさないでください。P.7の「デニム地に転写する時」の説明をご覧ください。

アイロン転写紙を勢いよくはがすと、アイロン転写紙が伸びるおそれがありますので、はがすときはゆっくりはがしてください。

複雑な形にすると、アイロン転写紙がまるまったり、やぶれたりして、上手く転写できないことがありますのでご注意ください。

5 堅めのアイロン台とアイロン、転写する布、シリコン紙を用意します。
 表面の堅いアイロン台または厚紙や布を敷いた堅くて丈夫な台と、Tシャツなどポリエステルやナイロン・アクリル・ポリエステル混紡の綿素材などの布、シリコン紙を用意します。転写できる布について、P.1の「転写できる布」の欄をよくご確認の上、作業を行ってください。



ご注意

ポリエステルやナイロンなど化繊布にも転写できます。
 ポリエステル素材であっても、裏地・表地の2枚でも裏地がメッシュ素材になっているものだと、段差があるため圧力のかかる場所・かからない場所がで、転写紙全体または転写紙の白い部分を染めてしまうおそれがあります。カノコ・メッシュ・縫い目がある素材には使わないでください。なるべく表面がフラットで粗くない生地を選んでください。
 防水加工のもの、織り目の粗いもの、縫い目のある部分への転写には適しません。「防水加工」と表示がない商品もありますのでご注意ください。
 布製品の中には表面に油分を含んでいるものがあります。そのまま転写すると、洗濯時にはがれやすくなる場合があります。一度洗濯をおこなって転写をおすすめします。
 Tシャツなど布にしわがある時は、あらかじめアイロンでしわをのばしておいてください。染料の性質上、デニム地に転写する時は、アイロン転写紙の白い部分が青くなる場合があります。通常と異なる転写方法をする必要があります。詳しくはP.7をご参照ください。

ワンポイント

Tシャツなどで背中・胸側の両面にアイロン転写するとき。

Tシャツなどで背中・胸側の両面にアイロン転写をするとき、転写紙部分とアイロン台の間に必ずシリコン紙をひいてください。
 シリコン紙がないと、アイロンの熱でアイロン台に直接ふれた転写部分が、アイロン台にはりつくおそれがあります。その際、シリコン紙は切ってお使いください。



ご注意

アイロンについて
 アイロンは約5分間、予熱してください。また温度が高くなりすぎないようにご注意ください。スチームの使用はしないでください。
 家庭用アイロンでスチーム穴があるときは、その部分でムラが発生しやすいため、穴のない平らな面を使って転写してください。
 コードレスアイロンの場合、アイロン中に温度が低下しますので、こまめに充熱してください。

転写について (アイロンがけのコツと注意)

生地への転写具合を見るためには、はじめは軽くまっすぐな状態で10秒程度アイロンで転写し、色目を見ながら15～20秒、力をかけてアイロンをかけてください。
 転写する画像の大きさ、印刷内容によって、アイロンをかける時間を変えてください。画像の濃度が濃いもの、また押さえつけるアイロンが小さく転写部分がアイロンからはみ出すときは、アイロンをかける回数と時間を多めにしてください。その際、布やアイロン転写紙が焦げないようにご注意ください。
 必ず1カ所「15～20秒ずつ押さえつける」作業を3～4回繰り返して、全面に均等に熱と力が加わるようにしてください。特に周辺と角にしっかりアイロンをかけてください。
 アイロン転写紙の裏表を間違えないようご注意ください。逆に置くときアイロンまたはシリコン紙についてしまします。

シリコン紙なしで、直接転写部分にアイロンをかけないでください。転写部分が溶けてしまいます。均一に圧力・熱が加わらないとムラができ、転写紙全体または転写紙の白い部分が部分的に染まるおそれがあり、きれいに転写できません。
 アイロンが不十分だと色落ちしやすかったり、洗濯時に転写部分がはがれやすくなります。間違えて転写した転写紙の上から、別の転写紙を貼り付けしないでください。色にじみ、色落ち、はがれの原因になります。

加熱中に蒸気および臭気が発生することがありますので、換気の良い所で作業してください。アイロンの熱や作業によっては、素材を焦がす恐れ、またカラー布は変色する恐れがあります。注意しながら作業をすすめてください。
 一度転写すると、はがすことはできませんので、慣れるまではいらぬ布で試してからご利用されることをおすすめします。

シリコン紙について
 シリコン紙は10～20回程度使用できますので、大切に保管してください。なお、20回未満でもシリコン紙に色移りがあるようなら、使用をやめてください。その際は市販のシリコン加工してある耐熱性のクッキングシートなどをかわりにお使いください。(念のため、いらぬ部分でお試しのうえご利用ください。) エアロンの顔料スインクを使用したプリンタP.M-4000PX、PX-5500、PX-G・V-Aシリーズなどにも対応していますが、これらのプリンタで印刷した場合、アイロンをかけたときシリコン紙に色うつることがあります。シリコン紙に色移りがあったときは、そのシリコン紙のご使用はおやめください。他の布にシリコン紙についた色がつうつおそれがあります。
 アイロンをかけた布が十分に冷めてから、シリコン紙をはがしてください。

6 アイロンをかけます。

転写する位置にアイロン転写紙を印刷面を上にして置き、シリコン紙をあてて、両手で体重をかけて上から強く押さえつけるようにしっかりアイロンをかけます。

デニム地に転写される際は、P.7の「デニム地に転写する時」の欄をご覧ください。

アイロンは両手を使って、全体重をかけて念入りにかけてください。温度は150、ドライにしてください。

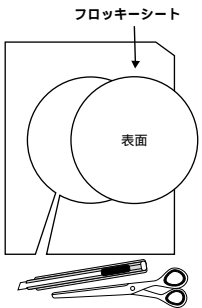


こんな感じでしっかりアイロンをかける



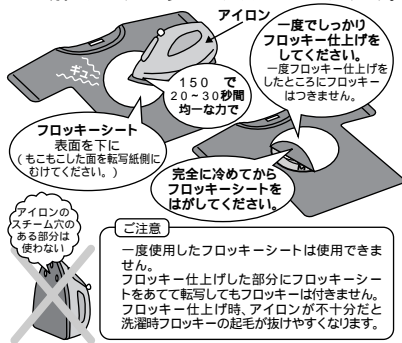
7 フロッキーシートを切り取ります。

転写部分より少し大きめにフロッキーシートをカットします。



8 フロッキー仕上げをします。

転写部分にフロッキーシートを表面(ももこした面)を下にして置き、両手で体重をかけて上から強く押さえるようにしつつアイロンをかける。



9 できあがり!!



世界で1枚のオリジナルシャツの出来上がり!!

色々なアイデアであなだけのオリジナルグッズを作ろう!

注意

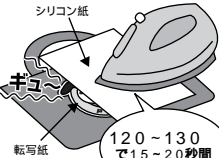
転写後の布を身につけたまま、海水や水の中に入らないでください。にじみや色落ちが起こることがあります。転写後のTシャツなどの布を着用中、または着用後に肌荒れなど肌に異常があった場合は直ちに着用をやめてください。重着による色移りなどがありますので、一度洗濯してからを着用をおすすめします。転写後、半日くらいおいてから洗濯を行ってください。

注意!! デニム地に転写する時

デニム地は染料の性質上、通常の方法(P.5の6の方法)でアイロンをかけると、転写紙の白い部分が青く染まる場合があります。デニム地に転写する時は、以下の方法で転写作業を行ってください。この後、7 8の作業を行ってください。

5の準備をしてアイロンをかける。

転写する位置に、アイロン転写紙を印刷面を上にして置き、シリコン紙をあてて、アイロンの底面部分で少し力を抜いてアイロンをかけます。徐々に力を加えていき、デニムの染料が転写紙の白い部分を染めていないか確認しながら貼り付けていきます。(ここでアイロンの温度が高かったり、力が強すぎたりすると、転写紙の白い部分が青く染まってしまう。)



アイロンは両手を使って、全体重をかけて念入りにかけてください。温度は120~130、ドライにしてください。

最初は120くらい低い温度で!

その他注意事項は6 6 および 6の「ご注意」をご参照ください。

洗濯について

重要

誤った洗濯方法は、色落ちやにじみ、はがれなど不具合をおこす原因となります。下記の指示に従ってください。

用紙自体の耐久性を高めています。インクジェットプリンタで印刷しているため、通常の洗濯ものと異なるシークレット取扱いが必要となります。市販されているプリントシャツなどと同等に扱わないようにしてください。下記の注意に従って、洗濯機で洗濯してください。(手洗いはしないでください。)

以下の方法に従わない洗濯方法ではご使用にならないでください。



洗濯時のご注意

つけおきはしないでください。色落ちの原因になりますので、ドライクリーニングはしないでください。洗濯にはかならず冷水をお使いください。風干の残り湯は使わないでください。また、手洗いはしないでください。漂白剤、柔軟剤は使わないでください。マイナスイオン洗濯、タンブラー洗濯など、特殊な洗濯方法は選ばないでください。激しく色落ちすることがあります。

注:洗濯耐久性を上げましたが、なるべく汗や雨など水に濡れた状態で長時間放置しないでください。にじみが出たり、色移りしていくことがあります。(やむなく洗濯される時は、転写部分が他の布に触れないよう、形を整えてください。色移りを選避することができます。)

転写部分を裏返し、ネットに入れてください。アイロンのかけ方が不十分だと色落ちすることがありますので、他の衣類とは分けて洗濯してください。

冷水で、家庭用洗濯機で弱流しにて洗ってください。30以上の温水での洗濯は避けてください。

(お風呂の残り湯などにはじみや色落ちの原因がありますので、使用しないでください。)

市販の洗濯洗剤を使用してください。(但し、漂白剤入りの洗剤、漂白剤、柔軟剤は使用しないでください。)

洗濯後・脱水後は、ぬじられた状態となり、転写部分が貼り付きやすい状態となりますので、直ちに取り出し、形を整えて陰干ししてください。乾燥機のご使用はお避けください。

シートの特性上、少しずつ劣化しひび割れが生じることがあります。

洗濯後のアイロンがけについて

洗濯堅牢性に優れていますが、万一転写物の一部がはがれ、浮き上がりが見られたら再度シリコン紙を介して加熱加圧することを勧めます。アイロンをかける時、転写紙は元通りに貼り付けられます。アイロンのかけ方は、6を参照ください。(デニム地の時は、P.7「デニム地に転写する時」を参照ください。)転写した部分にアイロンをかけるときは、必ずその部分にシリコン紙を置いて行ってください。

使用上の注意

対応布、対応プリンタ、転写方法、洗濯方法など、ここに記載されている以外の方法でご使用になられた場合に生じた不具合について、当社では一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。アイロンを使用しますので、やけど、火災にご注意ください。特にお子さまだけによる取り扱いはおやめください。

ご使用前に本製品とアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

印刷面をこすったり、傷をつけたり、折り曲げたりしないでください。

プリンタの種類、プリンタの印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより画像色・画像の精細さが変わることがあります。

布地に転写されたものはがすことはできませんので、テストしてから本番の布に転写してください。

また、失敗の責任は負いかねますのでご了承ください。

用紙は必要だけ取り出し、開封後はなるべく早く早くにお使いください。(開封後2ヶ月まで)コピー機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。

保管上の注意

使用しない用紙は必ずニール袋に入れて室温40以下、湿度80%以下の場所で重量がからないようにして、水平にして保管してください。外で長い時間放置しますと、反りが発生したりする可能性があります。

高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を選んで保管してください。開め切った車内やトランクなど、高温になる条件下での保管は避けてください。

開封後はなるべく早くにお使いください。

開封後、2ヶ月以内に早くにお使いください。

万一製造上の不備がございました場合は、同数の新しい製品と取り替えます。それ以外の責はご容赦いただきます。本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についての取り扱い、その他の補償はご容赦いただきます。商品改善のため、仕様・内容は予告無しに変更することがありますのでご了承ください。記載の社名及び製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社
www.sanwa.co.jp
06/03/MTME